



43

みみよい

「ごあいさつ」 折出 秀人

梅雨が近づき、蒸し暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、ビデオライブラリーの新しいDVDは、毎年春と秋に約100〜130作品程度入荷します。今回は、ドラマ「コウノドリ」やNHK高校講座「家庭総合」誰がどう育てればいいの？〜子育て環境と地域〜、ハートネットTV デフリンピック



特集「早瀬憲太郎・久美夫妻の挑戦」、「ちびまる子ちゃん」や「名探偵コナン」などが届きました。次回の新しいDVDは秋頃の入荷を予定しております。

ビデオライブラリーのDVDは、貸出はもちろん、センターの部屋では、どなたでも自由にご覧いただけます。聴覚障害関係や子ども向けのDVDも多数取り揃えておりますので、興味のある方はぜひ、ビデオライブラリーをご利用ください。

ろう 難聴児の保護者学習会& 中高生セミナーを開催しました

近畿ろう学生懇談会(通称:近コン)の学生さんに体験談をしていただき「学習会&中高生セミナー」も、今年度で2回目、今年も3名の大学生にご協力いただき、学校生活や情報保障、周囲の人との関わり



りについてお話しいただきました。今回は初めて、高等部の生徒さんが参加してくださいました。

ろう学校出身の方、地域の学校で過ごし、手話は大学に入ってから使うようになった方、ろう学校から地域の学校に移った方、生い立ちは様々ですが、共通していたのは「伝える力」。参加者にくくさんのメッセージをくださいました。

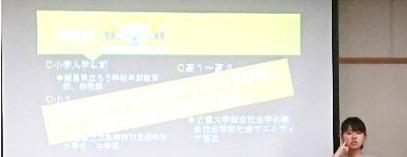
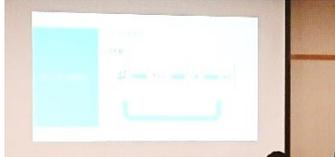
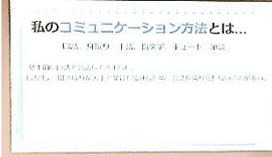
「わからないことをそのままにしない」、「自分で考え、課題解決のための努力や工夫をする」、「行動しないと何も始まらない」。そんなメッセージは、中高生にしっかりと伝わりました。また、保護者からも「子どもの精神的成長を待ち、『助ける』の手話のように後ろからサポートできるようにになりたい」との声が寄せられました。

大学では、講義を受ける環境も高校までとは大きく違います。情報保障が付いたとしても、それはそれで負担を感じることもあるそうです。自分のこと、サポートしてほしいことを周囲の人に伝えるためのことばをたくさん持つておくことや、相手の立場を想像することの大切



切さも、共通して語っておられたことです。そして、行き詰まることであっても進んでいけるのは、手話で語れる仲間がいるから。

「独りぼっちのろう学生をなくそう」「聴く権利・学ぶ権利」「社会改革」。これは、近コンの上部団体である全日本ろう学生懇談会の3本柱です。中高生たちも近コンの先輩たちのように、仲間と一緒にたくましく生きていってほしいですね。



みみサロンを開催しました



5月18日(土)にみみサロンを実施しました。「優生保護法と障害者の人権」というテーマで少し難しい内容でしたが、ろう者の中岡正人さんにわかりやすくお話しいただきました。

優生保護法は、戦後の1948年から1996年までの長い間続いた法律です。その法律の影響で今から30〜40年前、全国各地で聴覚障害者のみならず、様々な障害や遺伝性疾患の人が強制不妊手術をさせられたという悲しい歴史があります。聴覚障害者は聞こえる家族から生まれることがほとんどですが、昔は夫婦とも聴覚障害者だと、聴覚障害のある子どもが生まれるだろうという偏見がありました。そのことから、「障害のない子どもが生まれるように」と、本人の同意がないまま中絶や不妊手術をされた方が多くいました。

講師の中岡さんは大阪聴覚障害者協会の常任理事・大阪ろうあ会館の職員として、被害者の支援をしておられます。4月17日に行なわれた大阪での初公判では、いつも感情的にならない被害者のご主人が、意見を述べるときに涙する場面があったとのことでした。大阪での調査では亡くなれた方もいますが、15人の被害者がいることがわか



りました。「もう辛い過去を思い出したくない」と公表を望まない方も多く、実際の被害者はもっとおられるだろうという話もありました。被害者に対する救済法が4月下旬に成立し、今も生存している方に対し320万円の一時金の支給があります(※申請は大阪府になります)。精神的苦痛からして320万円は安いのではないかと、また、自ら申請をしなくてはならず、その期間も5年間と短い、と指摘されていました。優生保護法は個人の尊厳や、子どもを産んだり結婚したりと、自分が望むさまざまな権利が法律によって奪われたということです。そのことを国はきちんと認め、謝罪してほしい。また、二度と繰り返さないでほしいと強く訴えておられました。

今回の調査にあたって、大阪では聴覚障害者のための福祉施設や社会資源があったことで、被害者の数が増えたケースが多く、「ろうあ運動」による影響が大きいかを改めて実感したことを、最後に話されていました。参加者は少なかったですが、「テレビを見てもよくわからなかったので、詳しく聞けてよかった」という声をお聞きすることができました。講師を務めてくださった中岡さん、ありがとうございました。

「もじサロン」を開催しました!

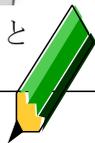
6月1日(土)は、要約筆記を活用しての「わい

もじサロン 筆談会の部

文字で内容を確認しながら、おしゃべりを楽しむ交流の場です。

5月14日 参加者5名
テーマ 「時代の話」

昭和や平成、それぞれの時代の思い出や印象深かったことなどを話しました。



次は

7月4日(木) 午後2時から4時
8月3日(土) 午前10時から12時
2階 研修室にて。事前申込不要です。
毎月開催しています。お気軽にご参加ください。(担当: 芦田・阿部)



わいおしゃべり会」。参加者は4名でした。「仕事についておしゃべりしませんか」と呼びかけたところ、若い方が集まりました。聞こえにくくて失敗したことや、いつも我慢していることを出し合い、「わかるー」、「一緒ー」と共感できる時間でした。一人が悩みをぶつけると、自分が同じ過程で経験してきたことやアイデアを他の人が話す。それが力になる様子が見て取れました。

難聴者は、同じ体験をしている聞こえにくい人になかなか出会えませんが、おしゃべり会が終わった後も笑顔でのおしゃべりが続く姿に、「もじサロン」が「出会い」になったことをうれしく感じました。

聞こえのセミナーを開催しました

5月は機器の体験会。センターの貸出機器を中心にご紹介しました。

ご家族との会話、テレビの音、趣味の会など、「聞きたい」の理由は様々。けれど、共通しているのは「普通に参加したい」ということ。機器の情報をお伝えすることが一助になればと思います。

床下にヒアリングループが設置されている会場だったので、ぜひ、ループの体験していただく、と用意したのが「スピーカーからは音が出ていないのに、受信機を使うと歌が聞こえてくる」というもの。みなさん、不思議体験をされた表情でしたが、「ループがあると、講演会などの講師の声がこんなふうに聞こえるんですよ」と説明すると、驚いておられました。堺市内でループを設置しているホールの情報も入手できたので、この機能もお知らせしていきたいです。

今回、センターで用意できなかった振動式が目覚まし時計や来客を光で知らせる機器などは、有限会社千里福祉情報センターさんにご協力をいただきました。ありがとうございました。



新しい機器「対話くん」を導入しました

5月のセミナーで初お目見えした「対話くん」。フェーストーカーを開発した Jumpes 株式会社さんが新たに開発された会話器です。話し手の近くにマイクを置くので、相手の声ははっきり聞こえます。

フェーストーカーは、話し手の口元にマイクがあるので雑音を拾いにくい、というメリットはありますが、首にかけて使うことから使いにくい面もありました。

「対話くん」は手のひらサイズ。価格も 1/4 で利用しやすくなっています。セミナーで試してくださった方からも、「よく聞こえる」、「使いやすい」との感想がありました。

6月から貸出可能となっています。病院や役所での手続きなどで、ぜひお試しください。※ 貸し出しやお試しをご希望の方は、事前にご予約をお願いします。



Net119 登録説明会 各区で開催！

紙面でも何度かご紹介してきた「Net119 緊急通報システム」。みなさんは登録されましたか？

7月末から、各区で登録説明会が開かれます。お持ちのスマートフォンや携帯電話によって、利用できる方法や登録の仕方が違うため、個別にご相談を受け、登録と練習ができるようにしています。

南	中	美原	東
7月23日(火) 14時～17時	7月25日(木) 14時～17時	7月30日(火) 14時～17時	8月20日(火) 14時～17時
南区役所 3階 301会議室	中区役所 地下1階 B1会議室	美原区役所本館 3階 302A会議室	東区役所2階 201・202会議室
北	西	堺	◎問合せ先 消防局通信指令課 TEL: 238-6053 FAX: 223-6938 または視覚・聴覚障害者センターへ
8月27日(火) 14時～17時	8月29日(木) 14時～17時	9月 8日(日) 10時～16時	
北区役所 1階 大会議室	西区役所 地下1階 B2会議室	堺市立健康福祉プラザ 3階 大研修室	

※ お住まいの区以外の会場でもご参加いただけます。

手話奉仕員・通訳者養成講座

各講座が開講します

手話通訳コース入門課程が始まりました。受講生は12名。4年後の通訳者を目ざして頑張っています。6月の末からは市民向け講座が各区で順次始まります。用意したチラシがどんどんなくなっていきます。うれしい悲鳴です。皆さんお越しください。

要約筆記者養成講座

受講生を募集しています！

今年度からカリキュラムに「交流会」を入れ、ただいま難聴者と交流を深めています。

6月19日に開講式。受講生3名です。長丁場の講座ですが、一緒にやってみましょう。今から楽しみです。

センターの行事

7月12日(金) 13:30~16:30

「補聴器相談」 ※予約制

7月20日(土) 14:00~16:00

「みみサロン」 ※事前申込
エンディングノートとは？

8月31日(土) 10:00~16:00

「聞こえのセミナー」 ※予約制
補聴器活用術

～ 夏休みの子ども企画 ～

7月26日(金) 13:30~15:00

「パントマイム教室」 ※事前申込

7月31日(水) 14:00~16:00

「工作教室」 ※事前申込

8月24日(土) 13:00~16:00

「親子クッキング」 ※事前申込

毎週木曜日 12:30~12:45

ミニ手話講習会「手話っぴい」



今年の5月は、北海道で39.5度を記録したかと思えば、大阪でも片付けた上着を引っ張り出すほど肌寒い日があったりと、安定しない気候でした。まもなく梅雨入り。食中毒や熱中症に気をつけましょう。

ビデオライブラリーのおすすめ

「NHK高校講座 家庭総合

誰がどう育てればいいのか？ ～子育て環境と地域～

待機児童問題や児童虐待など、子育てをめぐる社会問題は後を絶ちません。原因の1つには母親だけに子育てを押しつけている現状があります。

今回は、誰がどのように関われば安心して子育てができるのかを考えます。

「ちびまる子ちゃん『何度も楽しい新聞紙』の巻」

お父さんから新聞紙で作るおもちゃを教えてもらったまる子は、その日の新聞紙を全部使ってしまう、家族に怒られます。次の日、寒かったまる子は温まるために新聞紙を体に巻きますが…。



頑張っています 手話通訳・要約筆記者登録者

実施済

新規要約筆記者実技研修(手書き) 4/24 (PC)5/11

新規登録者合同研修 4/24・5/11

要約筆記者研修 6/11「事例検討」

※ 要約筆記者・手話通訳者更新研修(実技研修)4月~7月
登録者合同研修 6/22「対人援助の基礎知識」

要約筆記者実技研修(PC) 7/16「一人入力・連係入力」

登録者合同研修 7/27「アンガーマネジメント等」

手話通訳者実技研修 8/3「聞き取り通訳」

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
4月	派遣数	254件	25件	14件	4件	36人	103本
	派遣人数	281人	72人	30人	8人	新規登録者：5人	
5月	派遣数	227件	14件	15件	5件	31人	75本
	派遣人数	237人	27人	31人	13人	新規登録者：5人	

ご協力
ありがとう
ございました

